

平成27年度京都教育大学公開講演会

シリーズ『不思議の国の庭園—日本の庭再発見』第3回

庭の真実

身近にありながら、庭はなかなかとらえられない。
庭ブームは何度か記憶しているが、盛り上がることなく消え去っていった。
庭の芸術論、学術論はあっても、庭の真実、庭の存在があいまいであったからだと思う。
庭の真実、庭の存在は庭が庭であること。
絵画や写真、音楽、物語、演劇……でないこと。
そしてそれらでもあること。
庭はどこまでも庭であり、いかなるメディアも庭の真実、庭の存在は伝えられない。
地形を考え、石を据え、樹木を育て、さらには施主との付き合いにたずさわる庭師。
庭の存在、庭の真実はそうした庭師でなくては語れない。

講師

古川 三盛 氏
(作庭家)

日時

平成28年2月2日(火) 17時00分~19時00分

会場

京都教育大学 F棟 F16講義室

対象

一般市民

会場のご案内



京都市伏見区深草藤森町1番地
京阪電車「墨染」駅から東へ徒歩約7分
J R奈良線「J R藤森」駅から西へ徒歩約3分



※この講演会は、「平成27年度伏見連続講座」の対象講座です。

受講料 無料

事前の申込不要

お問い合わせ

京都教育大学総務・企画課 TEL 075-644-8125
Mail kouhou@kyokyo-u.ac.jp http://www.kyokyo-u.ac.jp/